

2020年3月12日
株式会社 ZMP

RakuRo™(ラクロ)の居住施設向けシェアリングソリューション 1人月額1万円～で利用可能に！(10人でシェアの場合) —低速モビリティ版 CASE の RakuRo™(ラクロ)がマンション、介護福祉施設などの移動の課題を解決—

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒)は、自動走行する一人乗りロボ「RakuRo™(ラクロ)」の活用により、パーソナルモビリティシェアサービスとして、マンションや介護福祉施設において一個人の所有ではなく複数人で共有するサービスの実現にむけて、モビリティとシステムの両面から支援して参ります。

ZMP は自動車の世界でキーワードとなっている『CASE』(Connected Autonomous Share Electric)を、歩く程度の速度で走行する低速モビリティロボットで実現し、観光地や介護福祉施設、空港、遊園地等での課題解決をしていくとともに、移動がラクに楽しくなる社会の実現を目指してまいります。



RakuRo™
ラクロ™



月額
1万円～

■ 高齢化社会における「移動」の社会課題とシェアリングの浸透

現在の日本では、超高齢化社会を目の前に控え、高齢者の「移動」が社会問題になっています。

地方だけでなく、都市近郊のニュータウンや団地といったエリアにおいても高齢化による免許返納に伴う日々の生活に必要な移動手段の確保は、タクシードライバーの不足、公共交通機関の廃線が顕著に進む中、喫緊の課題となってきております。

一方で免許返納をした高齢者の身近な移動手段として普及してきたシニアカー運転時の誤操作による事故やヒヤリハットも大きな課題として報告がされています。*1

※1)ハンドル形電動車椅子を使用中の事故(消費者庁):https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_009/

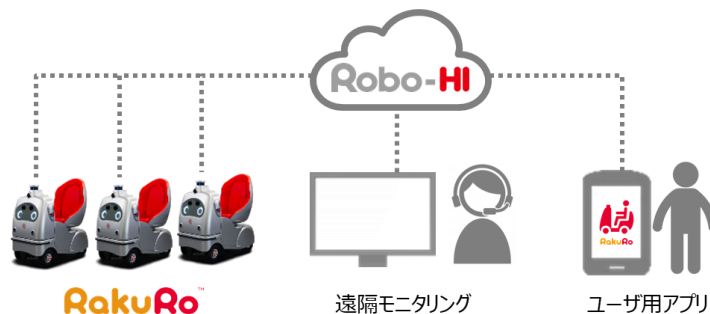
■ RakuRo™(ラクロ)と ROBO-HI®(ロボハイ)によるシェアリングサービスイメージ

そういった背景の中、ZMP では高齢化の進む団地や昨今建築が進む高齢者向けマンションのような住居施設、そして介護福祉施設において、一人乗りロボ RakuRo™(ラクロ)およびクラウドとスマートフォンアプリの ROBO-HI®(ロボハイ)の組み合わせによる個人の所有ではないシェアリングパーソナルモビリティサービスを実現します。

- (1) マンションや施設に、居住者の共有設備として RakuRo™ を設置し、居住者が頻繁に活用する行先を事前に登録(スーパー、役所、病院、公園など)
- (2) 居住者用のスマートフォンアプリによる利用予約や利用者確認の機能を提供
- (3) 利用時は RakuRo™ 設置場所から行先を指定するだけであとは自動走行
- (4) ROBO-HI®で RakuRo™ 設置タブレットや利用者のスマートフォンへ近隣店舗の情報などを提供



シェアリング RakuRo™(ラクロ)の利用イメージ(予約～認証～利用)



RakuRo™(ラクロ)のシェアサービスの全体像

■ RakuRo™(ラクロ)のシェアリングサービスによるメリット

RakuRo™(ラクロ)をシェアリングサービスとして活用することで以下のようなメリットが挙げられます。

- ① 自動走行用マップ内で定義された安全に走行できるルートを事前に設定しておき、利用者が行先を指定するだけで自動走行するため、利用者の誤操作による事故を防止することができます。
- ② RakuRo™はリースで月額 10 万円～(初期費用別途)として提供いたしますが、施設などで複数人のシェアリングとすることで、各利用者の負担額は小さく抑えることができます。例えば 10 人で 1 台をシェアリングすれば 1 人あたり 1 万円～となり、自動車を所有する維持費と比較しても負担を軽く押さえながら、日々の近隣での移動手段を確保することができると想定されます。
- ③ 遠隔監視システムにより常に RakuRo™ やその周辺をモニタリングでき、利用者は必要に応じてオペレーターとの会話により安心して移動することができます。

■ RakuRo™(ラクロ)とは ※仕様は予告なく変更となる可能性があります。

RakuRo™(ラクロ)は長さ 118.8cm×幅 66.4cm×高さ 120.0cm/110kg/最高速度 6km/h で、電動車いす製品として分類されます。周囲の人に対して笑顔と声によるコミュニケーションを取りながら、自律走行により目的地まで安心で確実な移動を行うことができる最新のモビリティ製品です。福祉施設や空港、さらには商業施設や観光地などにおいて、移動に不自由を抱える方へ新しく楽しい移動の形を提供します。

製品ページ:<https://www.zmp.co.jp/products/lrb/rakuro>

動画:公道走行(丸の内)の様子:<https://youtu.be/6pXae1m648I>

空港ターミナル内の活用イメージ:<https://youtu.be/jK-0j8gWqjQ>

■ 価格

月額 10 万円 (税別) ～ (本体年リースの価格)

-事業者様向け価格となり、買取も提供します。また価格は今後予告なく変更となる可能性があります。

-その他、自動走行用マップの作成や現地セットアップ等の初期費用、および保守費用、管理システム利用料などが別途必要となります。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP ロボライフ事業部 TEL:03-5844-6210 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①RoboCar®&センサーイノベーションは人の移動を担う RoboCar®シリーズと RoboVision®他各種センサー、②CarriRo®クリエイションはモノの移動を担う物流支援ロボット CarriRo®, 無人フォークリフト CarriRo® Fork、③IZAC®レボリューションは、自律移動技術でお客様の事業へ革新をもたらすサービス、④RoboTest®ソリューションは、走行テスト・データ取得および解析サービスを提供いたします。2020 年の人とモノの移動の無人運転化レベル 4 の実現に向け実証実験を重ねています。日本初の歩道走行を目指す DeliRo™, RakuRo™は、量産化へ向けた事業パー



トナーの募集を開始しております。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。